

[参考]

平成21年度第2回印西市安全で安心なまちづくり推進協議会会議録

1. 開催日時 平成21年9月8日(火) 午前10時00分～午前11時00分
2. 開催場所 印西市文化ホール大会議室
3. 出席委員(11名)
高城龍夫会長、表俊一郎副会長、久保聡委員、海老原博秋委員、石井恒雄委員、
長岡末徳委員、小川芳朗委員、小林正勝委員、高橋公雄委員、望月昇治委員、
根本久子委員
4. 欠席委員(1名)
川村政人委員
5. 出席職員(3名)
市民活動推進課 山口
市民活動推進課 小貫
市民活動推進課 中島
6. 傍聴者 0名(定員5名)
7. 会長挨拶
8. 議題
1)防犯カメラ設置に向けて
2)その他
9. 議事録
開会の言葉、議事に入る。

(事務局)
あいさつ

(議長)

早速、議題に入りたいと思います。本協議会につきましては公開の対象ですが、応募なかったの
で傍聴者はありません。

～傍聴者なし

1)防犯カメラ設置に向けて

(事務局)

「防犯カメラの設置」についてコンサルタントよりご説明をいたします。

～コンサルタントより資料説明～

- | | |
|-------------|---------------|
| ①対象地区の現状 | ②市内における犯罪発生状況 |
| ③危険・不安箇所の抽出 | ④防犯まちづくりの方向性 |

⑤防犯カメラ設置の考え方

⑥防犯カメラの設置場所案について

(議長)

ただ今の説明につきまして、意見がある方はお願いします。

(委員)

防犯カメラの映像はモニターするのか。ズームは必要に応じて操作できるのか。

(事務局)

モニターは考えていない。記録のみを行います。

(コンサルタント)

現段階では、防犯カメラを設置する時点で撮影範囲を決め、固定することを考えている(撮影範囲を決める際にズーム機能を使う)。随時、撮影範囲を変えられる訳ではない。

(委員)

犯罪が起きた時、はっきりと映っていない場合に、後で、顔を拡大してはっきり見えるようにすることはできないのか。

(コンサルタント)

オペレーターが付いてモニターするのであれば、手元で撮影範囲を変えられる機能を搭載することも有効であるが、そのような利用はしない。また、コスト面も考慮し固定を想定している。

(委員)

カメラの撮影角度がもっと広い機種はないのか。

(コンサルタント)

メーカーにより異なるが、望遠レンズにオプションがあり、価格は高くなるが広く撮影できるものもある。

(委員)

牧の原駅周辺の設定箇所案を見ると、撮影範囲が重複しているように見える。もっと広角に撮影できればカメラの台数が減らせるので費用は下がると思う。

(コンサルタント)

撮影角度はカメラのレンズにより差が生じるもので、メーカーによっては広く撮影できるものもある。しかし、現段階でメーカーを限定することはできないので、一般的な撮影角度を前提とし検討している。

(委員)

防犯カメラの設置の目的について再確認したい。

(事務局)

犯罪捜査に役立てるのも役割の一つだが、一番の目的は、犯罪を未然に防ぐこと(抑止)と考えている。

(委員)

牧の原駅南口はかなり細かく設置する案となっている。また、駅前の通路のみ双方向から撮影する計画案となっており他と異なる。重複ではないか。

(委員)

将来的には学校や公園にする必要があるが、学校や公園は広く分布している。スタンドアロン型を原則として示しているが、将来的なことも考えて位置や機能を検討しているか。

(事務局)

今回の防犯カメラ設置は試験的なものと考えている。よって、今回の結果から、将来的に設置箇所を増やす方が良いとなった場合には、改めてネットワーク化等について検討していく。

(委員)

まちづくり交付金の活用範囲は駅周辺に限っていると聞いていたが、対象範囲図をみると意外と広い。

(事務局)

国に申請している範囲なので、今回はこの範囲内で設置することを検討している。

(委員)

プライバシーへの配慮について確認したい。

(事務局)

要綱に従い、市民経済部長を責任者、市民活動推進課長を管理者として映像を扱える職員を限定する。また、モニタリングはしない。そして仮に、事件が発生し警察から要請があった場合には、要綱に従い対応するということとしている。

(委員)

映像の保管期間は2週間ということだが、データは上書きするのか。スタンドアロン型の場合も同様か。

(事務局)

はい。

(委員)

今回の防犯カメラ設置により、抑止効果が出てその地区の犯罪が少なくなった後に、他の重点地区に防犯カメラを移設することは可能か。

(コンサルタント)

移設場所の状況にもよるが、技術的に移設は可能である。

(委員)

補助金を受ける上で支障はないか。
保管期間2週間は何かの規定されているのか。

(事務局)

技術的には移設可能だが、まちづくり交付金は国の補助を受けるものであり、設置により効果が出たからといって、すぐに移設する訳にはいかない。効果も、カメラによるものか他要因によるのかは単純に判断できない。また、仮設ではなく常設ですので移設は難しいです。

画像の保管期間2週間については、資料巻末の「印西市防犯カメラの設置並びに管理及び運用に関する要綱」を参照していただきたい。

(委員)

メンテナンス費はどの程度か。

(事務局)

メーカーに耐用年数を確認していないが、保守点検は必要になると思う。

(コンサルタント)

スタンドアロン型の場合は、基本的に壊れなければ電気代のみと言える。しかし、ネットワーク化した場合は、NTT回線を利用するか光ファイバーを利用するかにより大きく異なる。また、サーバーの置き場所を市役所ではなくNTTとした場合には、レンタル料が別途かかる。

(委員)

カメラの表面の掃除も必要となるのではないか。

(事務局)

職員でやるか委託するかは分からないが、定期的なメンテナンス(少なくとも掃除)は必要だと思う。なお、千葉ニュータウン中央駅北口の駐輪場内に48箇所の防犯カメラを設置しており数年経過したが、いまだ1台も壊れていない。

(委員)

メンテナンス費は、まちづくり交付金の対象か。

(事務局)

対象外となる。平成22年までに行う設置費用に対する補助しか出ない。

(議長)

その他、何かございますか。それでは、事務局より「今後の予定」についてお願いします。

(事務局)

今後は、本日のご意見を踏まえて修正した協議会の内容を市長へ答申していく。追って、本日の議事録と答申案を、委員に送付させていただきます。

(議長)

他に無いようでしたら、以上をもちまして、平成21年度第2回印西市安全で安心なまちづくり協議会を終了します。

(事務局)

どうもありがとうございました。

平成21年度第2回印西市安全で安心なまちづくり推進協議会会議録は、事実と相違ないので当協議会はこれを承認する。

平成21年9月25日

印西市安全で安心なまちづくり推進協議会
会長 高城 龍夫